

< 第 10 回関東ホルモンと癌研究会 >

当番幹事：河野範男（東京医科大学病院 乳腺科）

日 時：平成 22 年 1 月 23 日（土）

場 所：東京医科大学病院 6 F 臨床講堂、会議室

テーマ：「がん治療分子標的薬」「ビスホスホネートによる再発予防」

14：00 -14：05 開会の辞：当番幹事 河野範男

14：05 -15：05

「がん治療分子標的薬」司会：林 慎一 先生 東北大学医学系研究科 分子機能解析学分野

婦人科：東京大学医学部産科婦人科

織田 克利 先生

「子宮体癌で臨床応用が期待される分子標的治療法」

泌尿器科：慶應義塾大学医学部泌尿器科学教室

大家 基嗣 先生

「腎細胞癌の分子標的治療-現況と問題点-」

乳腺：癌研有明病院化学療法科

伊藤 良則 先生

「乳がんの分子標的治療」

15：05 -15：10 移動

15：10 -15：50

一般演題：ポスター発表 10 演題

15:10 -15:30 閲覧 15:30 -15:50 自由討論

15：50 -16：05 休憩

16：05 -16：55

基調講演 司会：今村 健志 先生 癌研究会癌研究所生化学部

慶應義塾大学医学部先端医科学研究所遺伝子制御研究部門

佐谷 秀行 先生

「癌の浸潤・転移に対する新たな治療戦略の考案」

16：55 -17：55

「ビスホスホネートによる再発予防」

司会：河野範男先生 東京医科大学病院乳腺科

基礎：大阪大学 大学院歯学研究科 生化学

米田俊之 先生

「ビスホスホネートの光と影」

臨床：癌研有明病院化学療法科

高橋俊二 先生

「乳癌患者におけるビスホスホネートの抗腫瘍効果」

17：55 -18：00 閉会の辞 伊藤良則先生 + 次期世話人挨拶

共催 関東ホルモンと癌研究会 ノバルティス ファーマ(株)